

# IoT Station

株式会社ゼネックコミュニケーション



# Company Profile

株式会社ゼネックコミュニケーション

本社

京都市中京区烏丸通御池上る 二条殿町 552 番地  
明治安田生命京都ビル

東京支店

東京都千代田区内幸町 1-3-3 内幸町ダイビル 3F

資本金

8,000 万円

設立

1992 年 11 月 13 日

代表取締役社長

美馬 芳彦

事業内容

- IoT プラットフォームサービス『IoT Station』の開発・販売
- IoT アプリケーションサービスの開発・販売
- IoT コンサルティング・システム構築・運用管理
- システム保守・IoT デバイス販売

認定パートナー

- 京セラコミュニケーションシステム Sigfox パートナー
- ソニーネットワークコミュニケーションズ ELTRES™  
IoT ネットワークサービスパートナー
- ZETA アライアンス
- ソラコム SPS 認定済パートナー



組織図

DDS事業本部

執行役員 本部長  
森川 達矢

マーケティング部

部長 (兼任)  
森川 達矢

IoT Stationに関するオンライン・オフラインマーケティング

カスタマーサクセス部

執行役員 部長  
吉野 彰一

お客様へのDX化提案  
IoT/DX人材の育成

IoT Station 開発部

部長  
浦島 勲

IoT Stationに関する開発

# パートナー企業一覧

様々な企業様にご利用いただいております。



# IoT Station とは

通信回線やゲートウェイ、センサーの種類を問わず、  
クラウド上でデータの見える化ができる IoT プラットフォームサービスです。

Point.01



## データを貯める

センサーデバイスから取得できる  
データを貯めることができます。

Point.02



## データが見える

センサーデバイスから取得したデー  
タをユーザーに分かりやすく見える  
化いたします。

Point.03



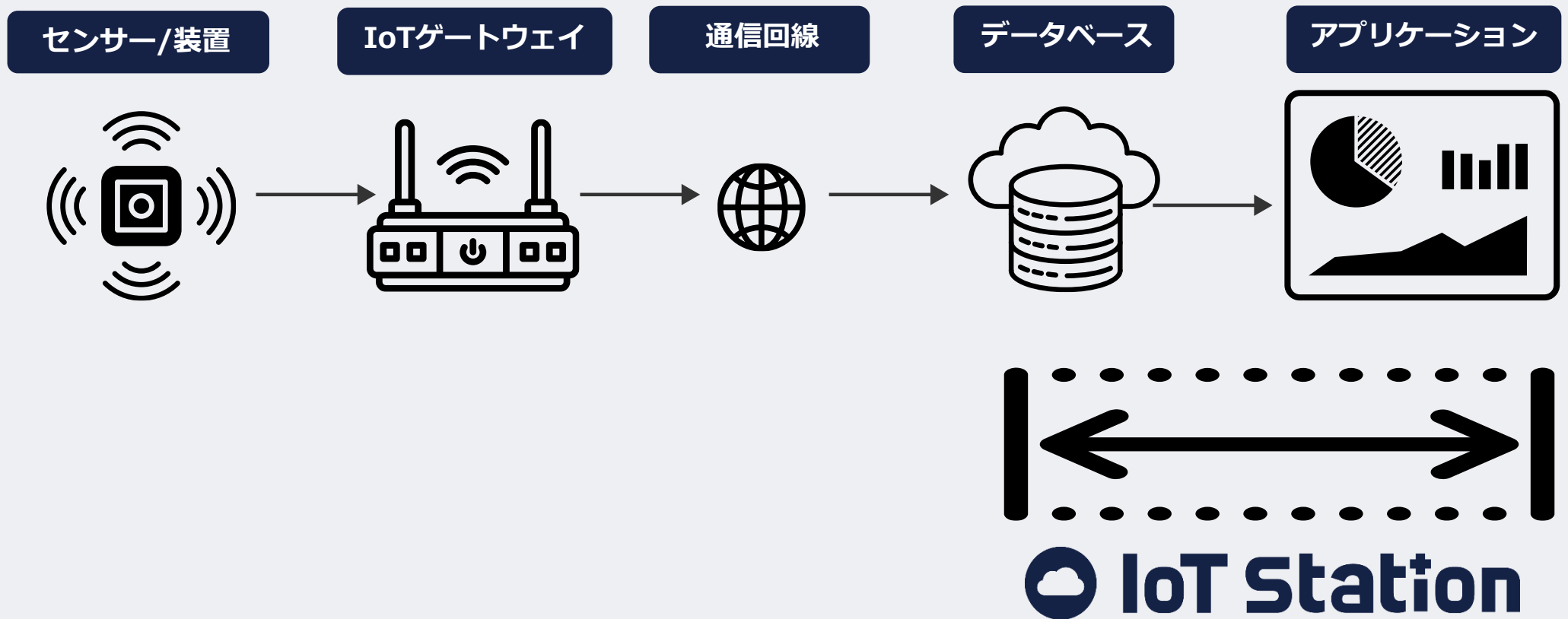
## 異常を通知

データがある一定の閾値を超えた際  
にユーザーへ通知いたします。

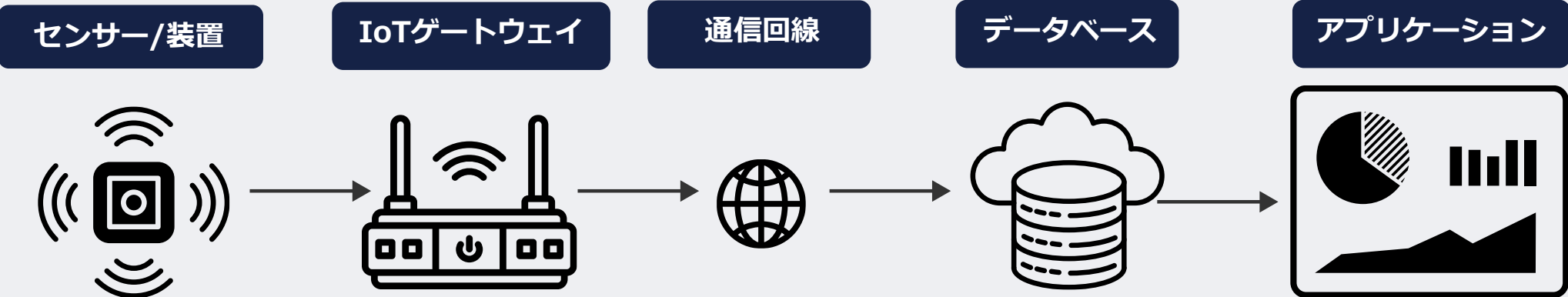
# IoTセンサーの活用事例



# IoTの仕組み



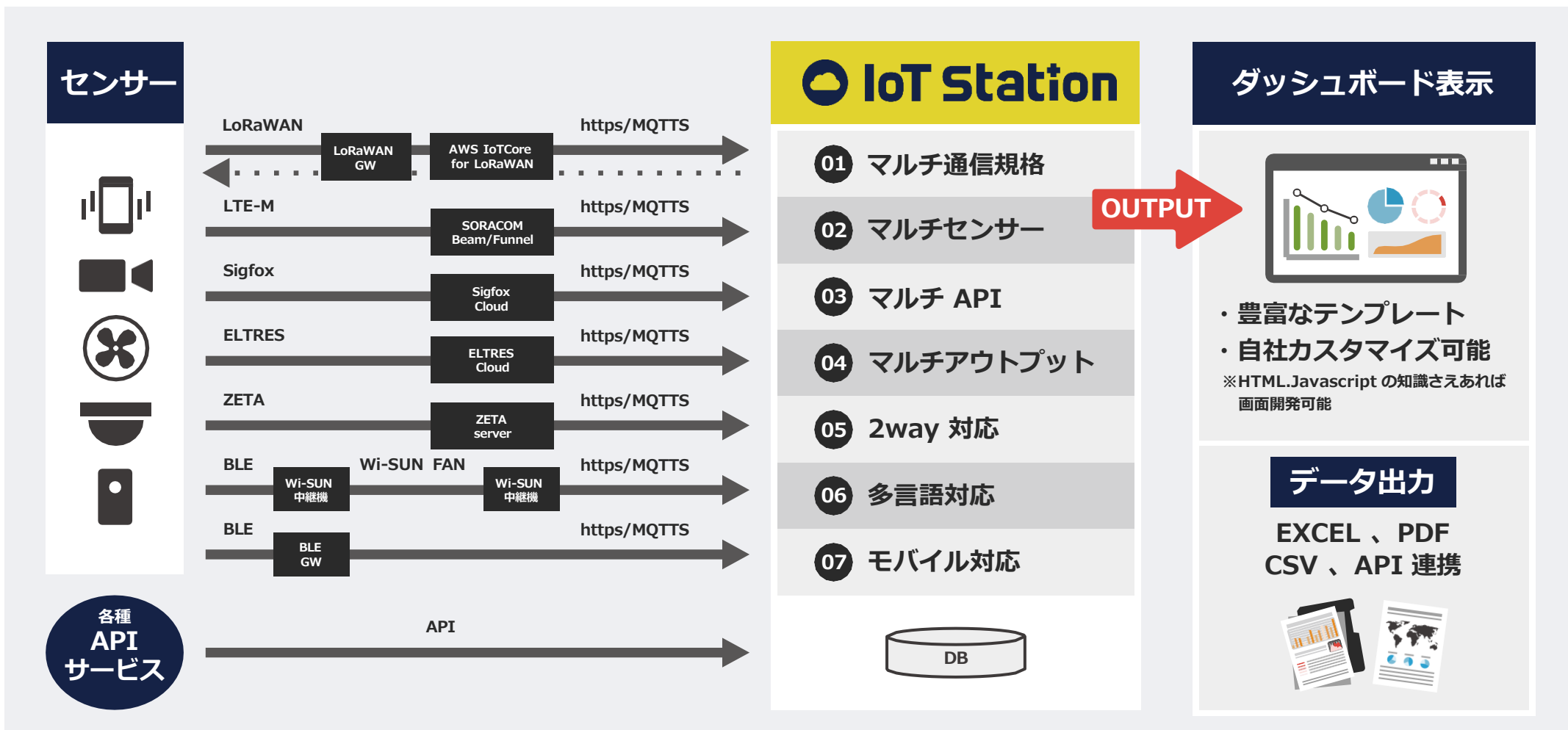
# IoT化を進める際の課題



使いたいセンサーが  
利用できない

ダッシュボードは  
すぐに使いたい

# マルチ通信規格・マルチセンサー・マルチAPI対応



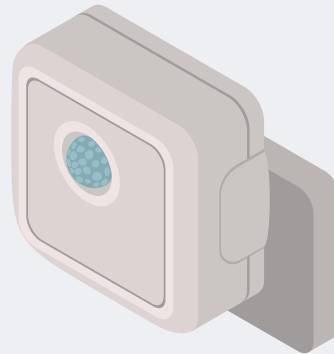


# 3つのターゲット

IoT Stationは、下記3つのカテゴリの課題解決を目指しています。



エンドユーザー



完成品（装置）メーカー



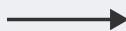
Sier・サービス事業者

# 1 製造業様での課題例

## 目的

## 課題

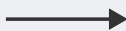
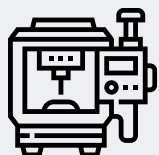
タンク



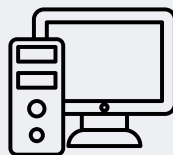
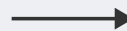
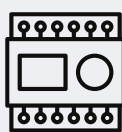
残量・使用量の把握

未デジタル化  
屋外の場合、電源がとれない

設備



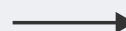
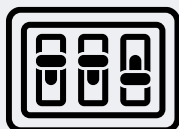
PLC



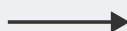
設備の稼働状況の把握

メーカーが異なるため  
設備ごとの単体管理となる

盤



スマートメーター



電気・ガス・水道料の把握

自社でデータがない

各部門ごとや、各メーカーのサービスの利用を検討されますが、  
部分最適となり、全体最適化につながらないケースになることも。

## 1

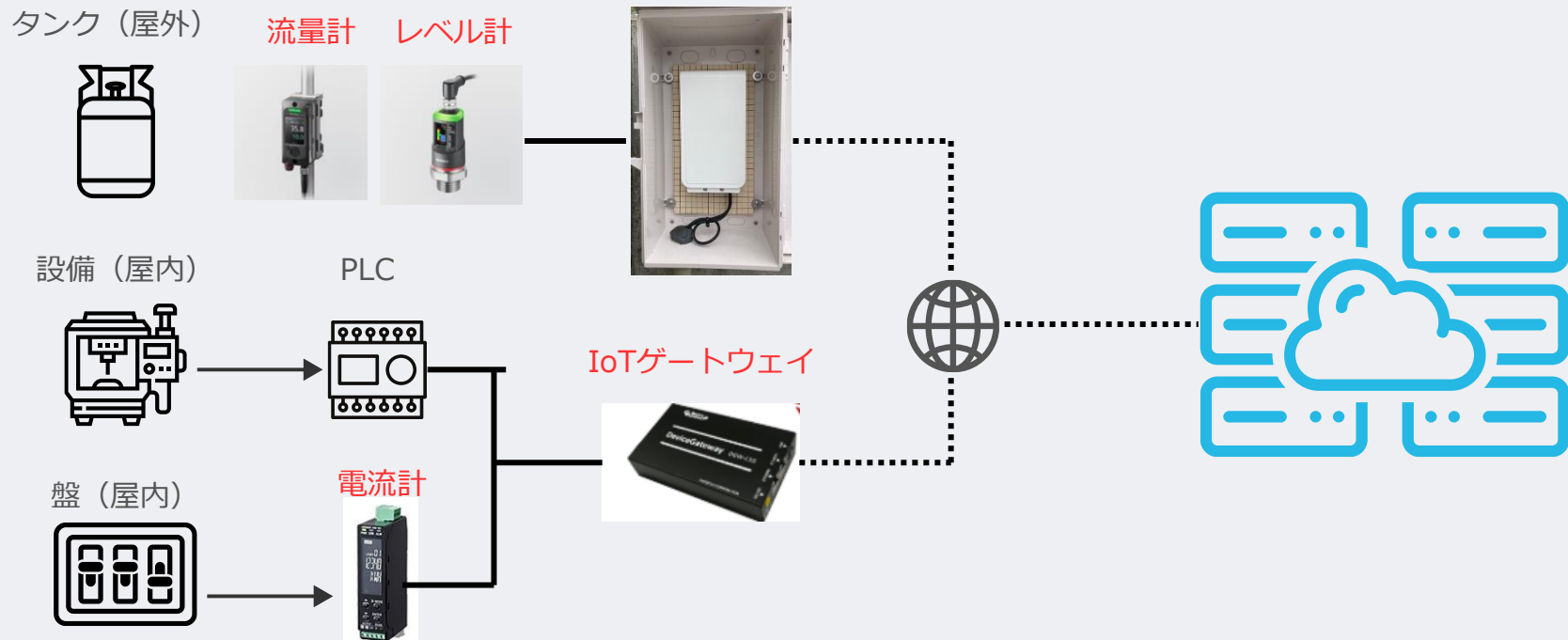
## 製造業様向け事例

## 目的・課題

- ・電源が取れない屋外からのデータ取得
- ・PLCからのデータ取得
- ・メーカーの異なる装置、センサーからのデータ取得

## IoT Stationを活用することで

マルチセンサー・マルチ通信規格対応しているため、  
設置場所やデバイス仕様に依存することなくIoTが実現



## 2 完成品・装置メーカーの課題

目的

課題

完成品

装置

1



自社デバイス・装置が  
取得するデータを使った  
サービス化

複数センサーの  
ラインナップが難しい

自社工場

商社・販売店

エンドユーザー

2



自社デバイス・装置の  
ユーザーごとの管理

従来とはことなる  
顧客管理が発生

予算

3



サービス開発費用の予算化

未来の開発が読めず、  
予算化が難しい

# 完成品・装置メーカー向け事例1 (オプテックス様)

## 目的・課題

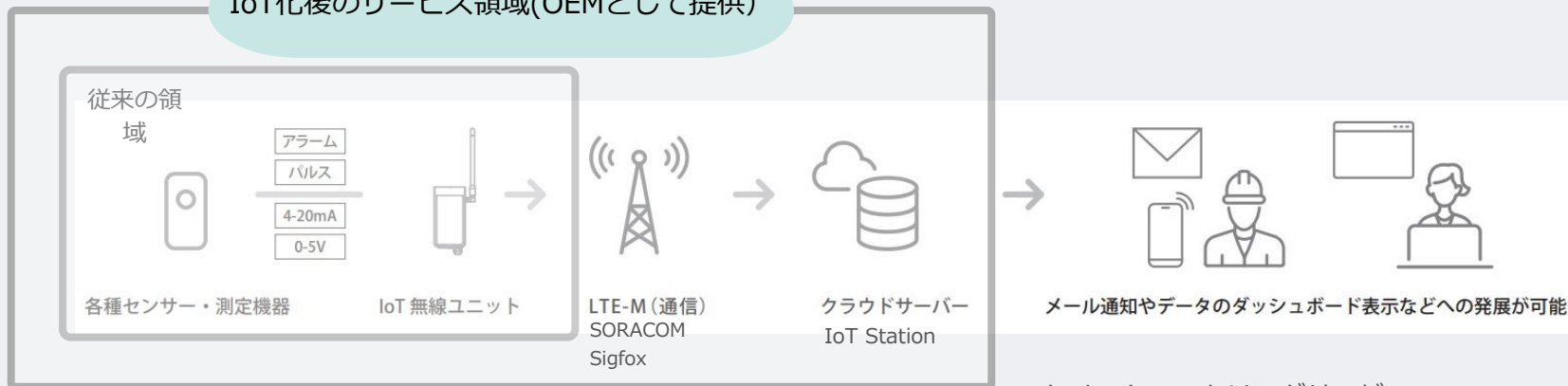
1

- ・ **自社ブランド**のサービスとしたい
- ・ 複数の異なるサービスでそれぞれ **個別カスタマイズ**をしたい

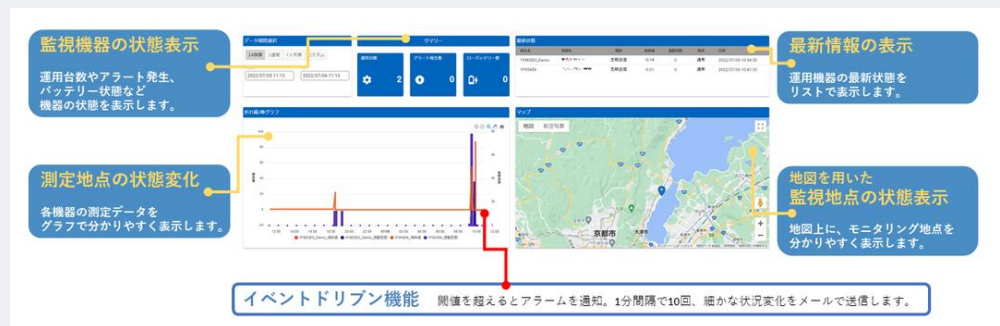
## IoT Stationを活用することで

**OEM提供可能**かつ、**カスタマイズ対応可能**なため、複数サービスの総称であるクイックモニタリングサービスの立ち上げに成功

IoT化後のサービス領域(OEMとして提供)



## ■クイックモニタリングサービス



2

# 完成品・装置メーカー向け事例2 (DIC様)

## 目的・課題

2

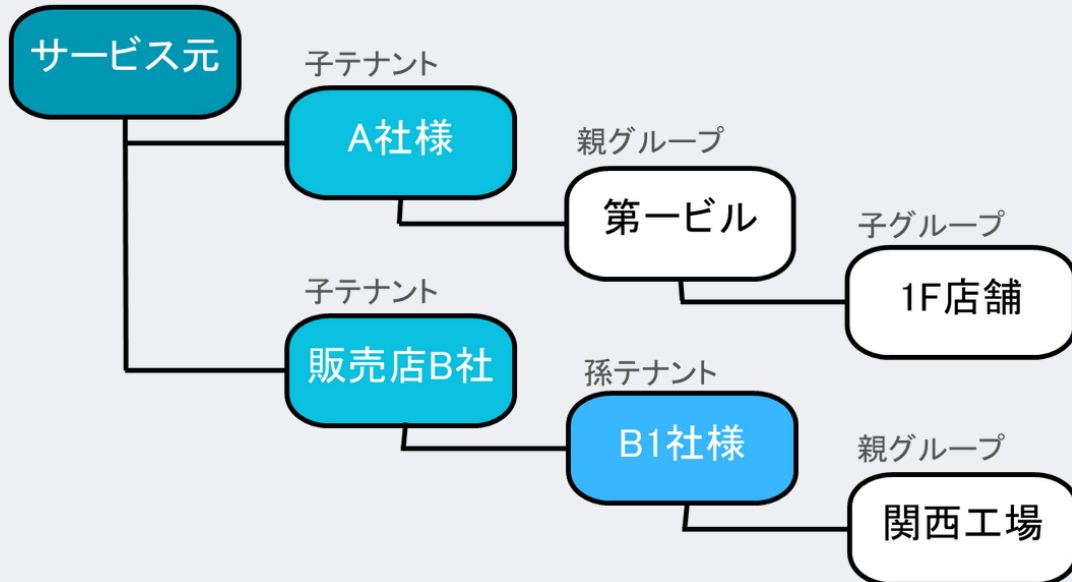
顧客ごと、現場ごとの端末管理、およびユーザー管理を行いたい

## IoT Stationを活用することで

テナントを5階層、テナント内のグループを5階層もてるため、顧客ごとかつ現場ごとの管理が実現

### ■ハットトツテエアビジョン

親テナント



## 2 完成品・装置メーカー向け事例3

3

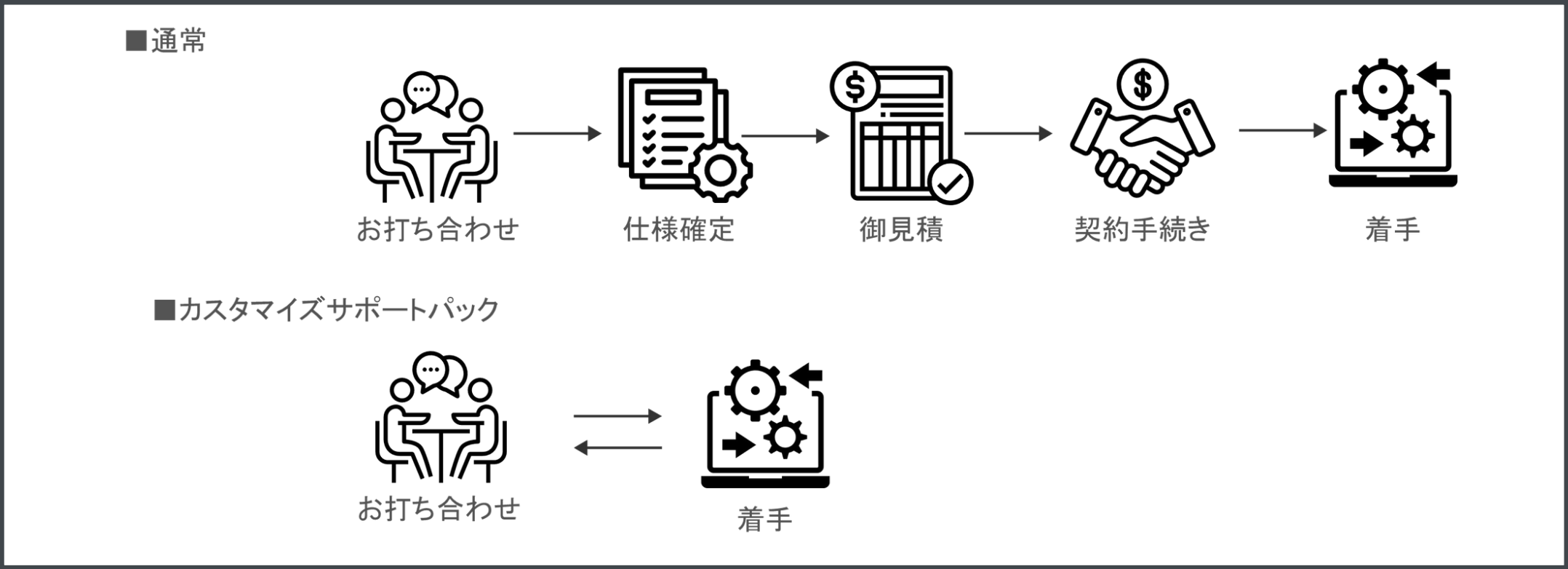
### 目的・課題

- 追加開発の仕様が固まらない中で年間予算の獲得がむずかしい
- 運用をしながら詳細仕様を確定させていきたい



### IoT Stationを活用することで

- 年間での開発工数のご契約をいただくことのできるため、未来の開発の予算化が可能に
- リリースまでの全体スケジュールの短縮



## 3

## Sier・サービス事業者の課題

## 目的

## 課題

自社エンジニアによる開発

1



自社のエンジニアによる開発を行うことで、ノウハウ蓄積および開発コスト削減

SaaS型のサービスは、ノンカスタマイズもしくは、サービスベンダーでのカスタマイズとなる

複数サービスへの対応

2

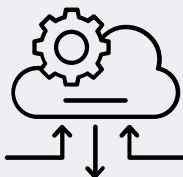


新サービスを短期間でリリースしていきたい

新サービス向けの個別対応にはコスト、開発期間が発生

サービスの運用

3



サービスの運用管理を自社で行うことは避けたい

複数のサービスを運用した場合それぞれの管理が必要



## 3

## Sier・サービス事業者向け事例1

## 目的・課題

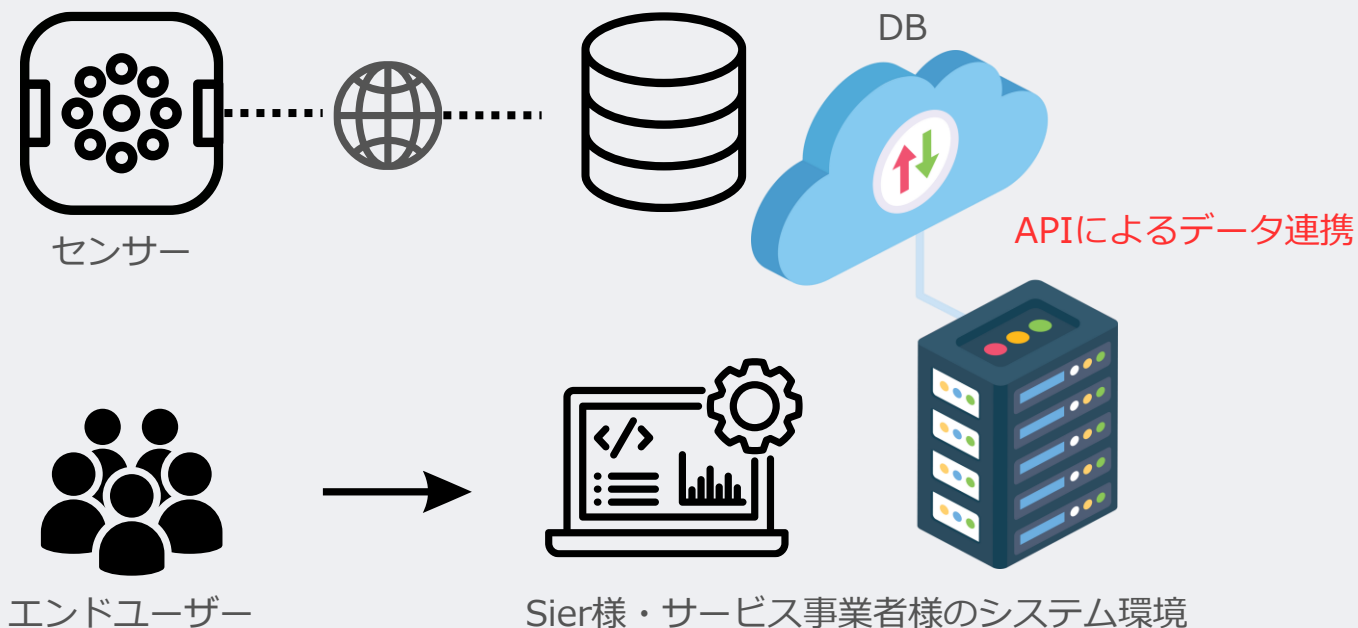
1

- ・データ収集基盤までを内製することができない
- ・自社エンジニアによる開発ができない

## IoT Stationを活用することで

IoTStationで集約したデータと、**外部システムの連携**が可能  
→基幹システムとの連携や、自社開発のダッシュボードとの連携が可能

□自社エンジニアによる開発



### 3 Sier・サービス事業者向け事例2

#### 目的・課題

2

- ・ダッシュボードのカスタマイズ費用を抑えたい
- ・今後新たなダッシュボードを利用したいときに、すぐに展開をしたい

#### IoT Stationを活用することで

- ・グループ単位にダッシュボードを割り当てることが可能
- ・ダッシュボードの複数種類作成が可能

□複数サービスへの対応



あらかじめ用意されているテンプレートの利用や、テンプレート自体をカスタマイズ対応することも可能

### 3 Sier・サービス事業者向け事例3

#### 目的・課題

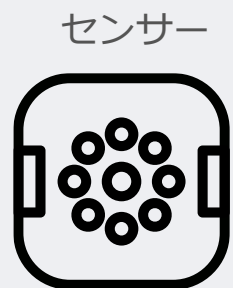
3

- ・サーバー環境の運用保守、メンテナンスを自社で行いたくない
- ・クラウド環境に、自社専用環境を用意してほしい

#### IoT Stationを活用することで

- ・AWS社のFTR認定サービスであり、国内リージョンで24時間365日稼働
- ・クラウド側でのセキュリティ対策を実施しており、ユーザー様側での対応は発生しない
- ・VPC環境でのIoT Stationのご利用も可能

#### □サービスの運用



AWS国内リージョンで運用

7世代バックアップ



VPC環境での運用も可

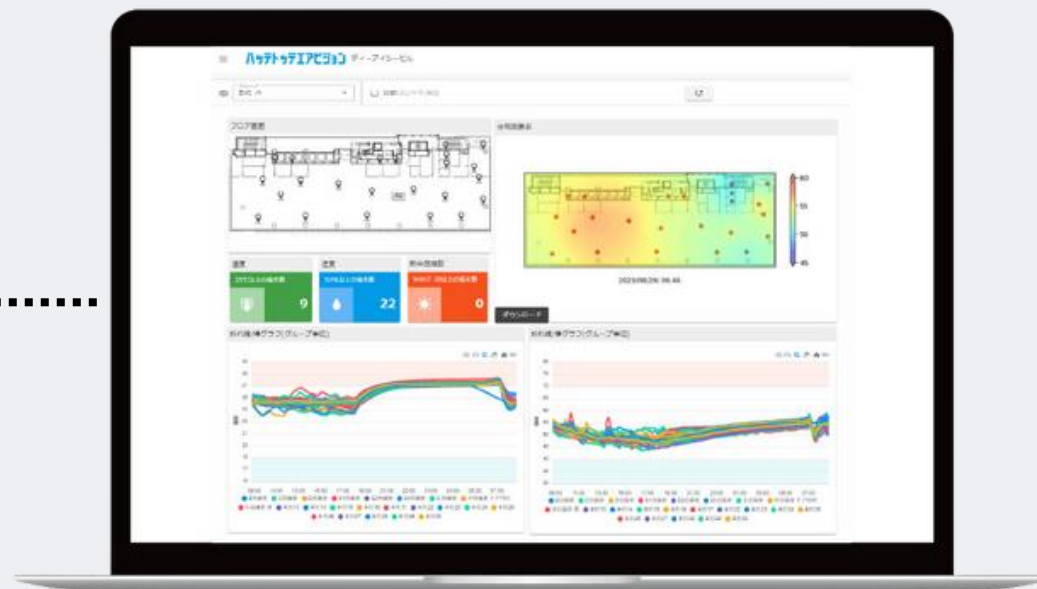
# 導入事例

※IoT Station 及び IoT Station V2 の導入事例実績となります

|    |  |                                    |  |   |
|----|--|------------------------------------|--|---|
| 01 |  <p>TOPPANエッジ株式会社<br/>TOPPANエッジ株式会社</p>             | <p>Sigfox</p>                      | <p>物流資材位置管理<br/><b>物流資材位置管理ソリューション</b></p>   | <p>拠点情報／在庫数／<br/>最新受信マップ／バッテリー消費量</p>   |
| 02 |  <p>TOKAIコミュニケーションズ<br/>株式会社TOKAIコミュニケーションズ</p>     | <p>LTE<br/>各種LPWA<br/>など</p>       | <p>設備監視サービス<br/><b>Smart Facility Manager</b><br/><b>設備遠隔監視サービス</b></p>            | <p>設備機器の稼働状況／室内の温度・湿度／<br/>センサーの電池残量・電波状況などを表示</p>                              |
| 03 |  <p>OPTEX<br/>Sensing Innovation<br/>オプテックス株式会社</p> | <p>Sigfox<br/>LTE-M</p>            | <p>BCP向け防災対策サービス<br/><b>簡易冠水モニタリング</b></p>   | <p>冠水検知場所／冠水発生履歴<br/>設置箇所一覧の表示</p>  |
| 04 |  <p>らくモニIoT<br/>中部電力<br/>パワーグリッド株式会社</p>           | <p>Sigfox<br/>ELTRES<br/>LTE-M</p> | <p>防災対策・設備監視サービス<br/><b>らくモニIoT</b></p>  | <p>冠水情報／傾斜角度／温湿度<br/>風向・風速・雨量などの簡易気象情報</p>                                      |
| 05 |  <p>新光商事株式会社<br/>Shinko Shoji Co., Ltd.</p>       | <p>LoRaWAN®</p>                    | <p>鳥獣被害対策支援サービス<br/><b>鳥獣被害対策罨システム</b><br/>避難所運営管理支援サービス<br/><b>避難所可視化システム</b></p> | <p>罨の作動状態・通信状態・気温・湿度・<br/>電池残量を表示<br/>避難所の開設・避難所の混雑度・緊急対応<br/>要請・温度・電池残量を表示</p> |

# ハットトツテエアビジョン DIC株式会社様

換気、温度・湿度の問題個所を一目で判別できるサービスです。  
熱中症・感染予防、快適さ向上にご活用いただけます。現場を回らなくても、画面の一角所で  
まとめて確認ができるため、管理負担軽減、コスト削減にも繋がります。



やわらか無線センサー  
ハットトツテ

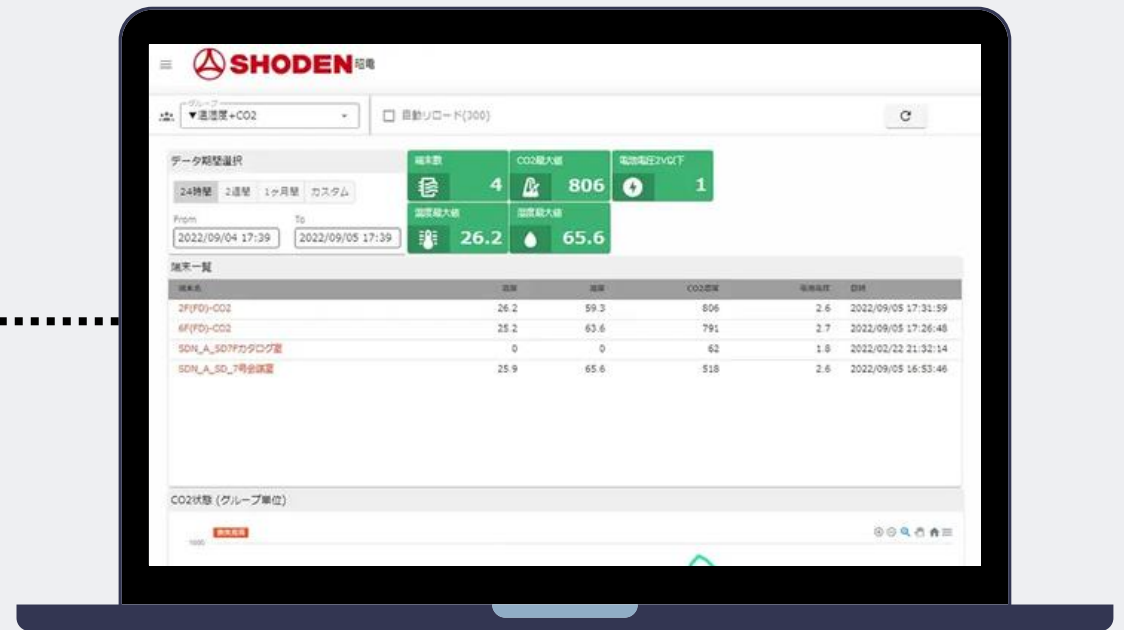


# Kebin Cloud 株式会社昭電様

各種センサデータを一元管理する事ができる統合監視クラウドサービスです。  
昭電製落雷情報、SPD製品(雷害対策製品)、や電源装置、地震対策製品などはもちろん、各種センサーやセキュリティ製品などをSigfox、LTE-Mなどのネットワークを利用し収集し管理・監視ができるクラウドを提供しています。



各種センサー



# クイック・モニタリングサービス オプテックス株式会社様

迅速に導入できる遠隔モニタリングサービスです。  
「各種センサーの最新の測定値」「監視設備の異常発生」「IoT機器のバッテリー状態」等の情報の遠隔監視が可能です。減災やBCP対策、定期巡回業務の低減にお役立ていただけます。



各種センサー

# 導入5STEP

導入までの STEP をご紹介します。  
予算や目的に合わせて、最適な導入パターンをご提案させていただきます。

STEP01.

## ご要望の確認

ヒアリングを基に、IoT Station 導入のご提案をさせていただきます。



STEP02.

## サービス構成の確定

全体的なサービスイメージの確認と課題の洗い出しをさせていただきます。



STEP03.

## 通信規格とデバイスの選定・評価

お客様側にて、デバイスの選定をお願い致します。  
センサーメーカーやネットワーク事業者様など、弊社のパートナー企業様をご要望に合わせてご紹介することも可能です。  
お気軽にご相談ください。

STEP04.

## 詳細仕様ヒアリング (お見積り)

各種インターフェースの仕様確認・ダッシュボードイメージの認識合わせを行います。



STEP05.

## 個別カスタマイズ

**最短 1 か月\***

画面デザイン確定後に、実装となります。

※開発期間は実装内容により異なります。**テンプレート**をご活用頂くことにより、**最短約 1 か月**で開発が可能となります。

納品後の新たなご要望もお気軽にご相談ください。  
お客様の求めるデータ活用を、IoT Station が実現致します。



# IoT Stationラインナップ・特長紹介

## IoT Station V2 *IoT Station EX*

- 1 様々なデータの一元管理  
.....
- 2 管理機能による幅広いサービス展開  
.....
- 3 カスタマイズ・OEM 対応  
.....
- 4 管理者によるダッシュボードの編集



## *IoT Station EX*

- 1 API 連携  
.....
- 2 センサーとの双方向通信機能  
.....
- 3 機能拡張オプション



# よくある質問

ご質問・ご相談等はお気軽にご相談ください。

**Q1.** 表示画面やシステムについて、個別カスタマイズをお願いする事はできますか？

**A1.** お客様のご要望とデータの特徴に合わせた、カスタマイズをご提案させていただきます。

**Q2.** IoT を始めたいのですが、センサーや通信規格の知識がありません。提案してもらうことは可能ですか？

**A2.** 弊社では IoT アプリケーション『IoT Station』のご提供のほか、お客様のご要望・課題に合わせたセンサーや通信キャリアのご紹介が可能です。

**Q3.** IoT Station という名前を変えて、自社サービス化できますか？

**A3.** IoT Station は OEM 提供が可能です。様々なお客様に自社サービスとしてご活用頂いております。

**Q4.** 他社の IoT プラットフォームサービスとの違いは何ですか？

**A4.** IoT Station は、お客様のご要望とデータの特徴に合わせた個別カスタマイズが得意です。また、デザインの種類が豊富な「IoT Station テンプレート」をご利用いただくことにより、貴社ビジネスの DX を最速で実現します。



# Contact us

 **075-211-5533** ( 平日 9 : 00 - 18 : 00 )

 **iot\_contact@genech.co.jp**

 **<https://iot.genech.co.jp/>**

WEB サイト



[iot.genech.co.jp/](https://iot.genech.co.jp/)

Twitter



[@genech\\_group](https://twitter.com/genech_group)

instagram



[@genech\\_com.1992](https://www.instagram.com/genech_com.1992)

facebook



[www.facebook.com/GENECHCOMMUNICATION/](https://www.facebook.com/GENECHCOMMUNICATION/)

youtube



[www.youtube.com/watch](https://www.youtube.com/watch)

